

年度	2024		
科目名	共通 国際マネジメント演習 I		
英文科目名	International Management Seminar I		
学期	前期後半	単位	2
教員名	中野 勉		
英文教員名	NAKANO Tsutomu		

講義概要/Course description

デジタル・テクノロジーにより「つながる時代」に移行した企業のマネジメントには、組織に関する課題が山積しています。2023年は組織開発と組織内のコミュニケーションなどを中心に広範に学びましたが、今期は、DX時代の組織の諸課題に焦点を当てます。具体的には、伝統的な組織論や企業戦略論を応用しながら、経営組織と経営戦略に関わる現代的な課題として、例えば、チーム・ビルディングやプロジェクトへの組織開発とモチベーション、リモートワークやワーケーションを使った組織文化の醸成、組織内外のコミュニケーションと空間・時間の重要性、オープン・イノベーションやコミュニティとエコシステムによるスタートアップの活性化、デジタル・プラットフォームとアントレプレナーシップ、社会課題へのデザイン思考とネットワークの多様性のマネジメント、などをキーワードとして、組織論、戦略論、ネットワーク論、社会構成主義、経済社会学、心理学、認知論、現象学など様々な視点からディスカッションします。諸理論とそれらの現代実務への応用についての理解を深めることを目的とし、各自が興味や問題意識を持つ組織に関する課題を検討します。また、より応用的なトピックとして、例えば、Fan economy, プラットフォームとソーシャル・ネットワーク、DXのマネジメントと組織、プラグマティズムによる探求とイノベーション、状況的な認知と知のデザイン、市場や産業の制度化とクラスター、デジタル時代におけるチーム作りとアナログの信頼形成の重要性、リスク・BCPと組織のレジリエンス、遂行性(performativity)と実践的な価値評価(pragmatic valuation)、将来への期待とハイブリッドな空間及び時間と市場のダイナミズム、空間的かつ時間的な媒介とビジネスの立ち上げなど、カテゴリカルなデジタル技術からの思考の危険性を意識しながら、アナログ文化との比較や融合を含め、組織マネジメント、知の組織化、市場創造、ビジネスへのダイナミクスなどを学びます。各自の課題について、分断の時代にグローバル経済の中でどう生きて行くのかという視点から、問題意識を共有し、輪読やディスカッションを続け、各自の発表を行います。また、イベント参加、フィールドワーク、ゲストとのトークなどを実践します。

達成目標/Course objectives

先端の組織論を広く学ぶ。中でも、ネットワーク理論、組織と戦略、イノベーション、組織の内外のコミュニケーション、組織開発、サステナビリティなどに関する学術的な先端理論を身につけるだけでなく、デジタル化が進むビジネスやマネジメントへの、それらの応用の可能性と危険性を多角的に理解・検討し、実践的に判断する知識及び、方法論の応用的な知識を身につける。

学部・研究科のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、当該科目を履修することで身につく能力 /Abilities to be acquired by completing the course in accordance with the faculty and graduate school diploma policy (graduation certification and degree conferral)

- 知識・技能
Knowledge and skills
- 思考力・判断力・表現力
Ability to think and judge, and power of expression
- 意欲・関心・態度
Motivation, interest, and attitude

履修条件（事前に履修しておくことが望ましい科目など）/Prerequisite

『ソーシャル・ネットワークと組織のダイナミクス』『企業戦略』『グローバルマネジメント』などを、事前または同時進行で履修することが望ましい。日本語でのディスカッションに積極的に参加できる方。マネジメント、組織、ビジネスを深く考えてみたいという方。

授業計画/Lecture plan

講義回		
1	授業計画	授業への導入とセミナーの意味の確認－組織論など（オンライン授業（リアルタイム型）での実施）
2	授業計画	受講生からの提案とディスカッション
3	授業計画	アジェンダの検討
4	授業計画	トピックの絞り込み
5	授業計画	学術的なアプローチ
6	授業計画	学術的なアプローチ
7	授業計画	学術的なアプローチ
8	授業計画	イベント参加
9	授業計画	ゲストのトーク
10	授業計画	受講生による発表

11	授業計画	受講生による発表
12	授業計画	受講生による発表
13	授業計画	受講生による発表
14	授業計画	フィールドワーク
15	授業計画	ニューノーマルと組織
	事前学習	選んだ書籍や資料を読むこと。プレゼンテーションの担当の際には、事前にパワーポイントなどの資料を準備すること。
	事後学習	授業の復讐は理解を深めるのに役立つ。

授業方法/Method of instruction

区分/Type of Class	対面授業 / Classes in-person	
実施形態/Class Method	通常型 / regular	
	補足事項/Supplementary notes	各自の課題について問題意識を共有しながら、輪読やディスカッションを続け、各自の報告の発表も行いながら実践的な課題に取り組む。詳しくは第1回の授業で説明する。
活用される授業方法/ Teaching methods used	<input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション presentation <input checked="" type="checkbox"/> PBL (課題解決型学習) project-based learning <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 (知識習得の要素を教室外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) reverse teaching (a class style where students educate themselves out of class beforehand, and use the class period to confirm the knowledge one has gained.) <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート discussion / debate <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク group work <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク field work <input type="checkbox"/> 上記に該当しない none of the above	

成績評価方法/Evaluation

	種別/Type	割合/Ratio	成績評価基準/Grading Criteria
1		100%	クラスでのディスカッションへの貢献に加え、個人の発表やレポートでの評価。

教科書/Textbooks

1	著者名/Author	中野勉編著
	タイトル/Title	『グラフィック経営組織論』
	出版社/Publisher	サイエンス社
	出版年/Published year	2021

参考書/Reference books

1	著者名/Author	中野勉
	タイトル/Title	『ソーシャル・ネットワークとイノベーション戦略—組織からコミュニティのデザインへ』
	出版社/Publisher	有斐閣
	出版年/Published year	2017
2	著者名/Author	中野勉 (2011年、有斐閣; Amazon kindle にて購入可能)
	タイトル/Title	『ソーシャル・ネットワークと組織のダイナミクス—共感のマネジメント』
	出版社/Publisher	有斐閣
	出版年/Published year	2011
3	著者名/Author	上田・榊原編著、中野勉など共著
	タイトル/Title	『グラフィック 経営学入門』
	出版社/Publisher	サイエンス社
	出版年/Published year	2023

メッセージ/Message

先端の組織論を皆で広範囲に学びますが、今後社会のデジタル化が進む中で、何が重要になるのかという、将来に向けた実践的な知識を、多様性のある民主的な社会に向けて皆で考えましょう。DXの意味など、新たな知と実務の世界を探求してみたい方を歓迎します。

その他/Others

この科目の Intended Learning Objective (ILO) は以下の通り

IL01: 企業経営の主な機能について深く理解していることを示すことができる
IL03: 問題を発見し、関連する理論を適用して問題を解決することができる
IL04: 定量的および定性的な分析方法を応用することができる
IL05: 国際マネジメントの分野で十分なコミュニケーションをすることができる
IL06: 国際的な視点から経営倫理、社会的責任、持続可能性を理解し認識することができる
IL07: 国際マネジメントに必要なリーダーシップを発揮することができる

キーワード/Keywords

経営組織 組織論 ソーシャル デザイン戦略 イノベーション プラットフォーム コミュニケーション
コミュニティと組織 戦略論 ネットワーク 認知論 経済社会学 オープン・イノベーション C
SRとコミュニケーション戦略 ソーシャル・ベンチャー 経営戦略 マネジメント 組織文化 制度論
実践主義的な探求 状況的な認知と知のデザイン 組織内コミュニケーション クラスタ チーム作り
ネットワークと地域活性化 リモートワーク DX